

決算補足説明資料

2012年度 第2四半期決算

2012年10月29日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード:4508



本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2012年度第2四半期 決算の概要	
	1. 2012年度第2四半期 業績サマリー 2. 2012年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
2	2012年度第2四半期 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② 事業別売上高 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	④ 営業外損益 ⑤ 特別損益 ⑥ 法人税等	4
	⑦ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
3	2012年度 業績予想について	
	① 損益予想 ② 事業別売上高予想 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	④ 主要製品売上高予想	10
	⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑥ 減価償却費予想	11
4	5か年連結財務数値	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
6	新製品開発状況について(2012年10月29日現在)	
	1. 国内開発状況	15
	① 新規化合物 ② 効能追加	15
	2. 海外開発状況	16
	① 新規化合物	16
	3. 導出品の開発状況	17
	4. 2012年度第1四半期決算発表時点(2012年7月31日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2012年10月29日現在)	19
	① 国内 新規化合物 ② 国内 効能追加	19
	③ 海外 新規化合物 ④ 導出品	20
7	その他	
	1. 関係会社	21
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社一覧	21
	2. 株式の状況	22
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	22
	④ 配当金／株価推移	22
	参考	
	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	23

1 2012年度第2四半期 決算の概要

(億円未満切捨て)

1. 2012年度第2四半期 業績サマリー

売上高	2,038 億円	前年同期比	34 億円	1.7 %
○医薬品事業	2,007 億円	前年同期比	53 億円	2.7 %
○その他	30 億円	前年同期比	△ 18 億円	△ 37.4 %

医薬品事業は、前年同期比+2.7%、53億円増収の2,007億円となりました。

国内医療用医薬品は、本年4月の薬価改定や後発品の影響拡大などがありました。抗ヒTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード」が売上を拡大し、C型慢性肝炎治療薬「テラビック」をはじめとする昨年発売した新製品も寄与しました。また、本年9月には、2型糖尿病治療剤「テネリア」を発売しました。これらの結果、前年同期比0.5%増収の1,766億円となりました。

海外医療用医薬品は前年同期比11.1%増収の101億円、一般用医薬品は前年同期比2.7%減収の28億円となりました。

医薬品その他は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入の増加などにより前年同期比45.1%増収の111億円となりました。

その他は、本年7月にファインケミカル事業を譲渡した影響などにより前年同期比△37.4%、18億円の減収となりました。

◎各事業の主たる製品及び役務の内容

医薬品事業：医療用医薬品、一般用医薬品

その他：化成品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	322 億円	前年同期比	△ 38 億円	△ 10.6 %
------	--------	-------	---------	----------

営業利益は前年同期比△10.6%、38億円減益の322億円となりました。

売上高は34億円の増収となりましたが、薬価改定の影響などから売上総利益は前年同期比13億円減益の1,245億円となりました。なお、売上原価率は前年同期比1.7ポイント悪化しております。

販売費及び一般管理費は、研究開発費の増加に加えて、昨年発売した新製品の販売権償却費などの販売経費の増加もあり、前年同期比24億円増加し、923億円となりました。なお、研究開発費は342億円、売上高に対する割合は16.8%となっております。

経常利益	331 億円	前年同期比	△ 32 億円	△ 8.9 %
------	--------	-------	---------	---------

四半期純利益	194 億円	前年同期比	△ 4 億円	△ 2.4 %
--------	--------	-------	--------	---------

経常利益は前年同期比△8.9%、32億円減益の331億円、四半期純利益は前年同期比△2.4%、4億円減益の194億円となりました。

固定資産売却益など特別利益が12億円発生しました。

血漿分画事業の事業統合関連損失22億円、投資有価証券評価損7億円など36億円の特別損失が発生しました。なお、前年同期には、減損損失などで32億円の特別損失を計上しております。

2. 2012年度 業績予想サマリー

売上高	4,250 億円	前期比	178 億円	4.4 %
営業利益	700 億円	前期比	9 億円	1.4 %
経常利益	710 億円	前期比	22 億円	3.3 %
当期純利益	405 億円	前期比	14 億円	3.8 %

3. 配当金

	2012年度		2011年度	
	上期末	年間(予想)	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	20	40	15	35
配当性向 (のれん償却前)	- (-)	55.4% (44.4%)	- (-)	50.3% (40.0%)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2012年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2011年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
売上高	2,038	2,003	34	1.7	2,030	8	0.4
売上原価	792	744	48	6.5	765	27	3.6
売上原価率	38.9%	37.2%			37.7%		
売上総利益	1,245	1,259	△ 13	△ 1.1	1,265	△ 19	△ 1.5
販管費	923	898	24	2.7	985	△ 61	△ 6.3
販管費比率	45.3%	44.9%			48.5%		
営業利益	322	360	△ 38	△ 10.6	280	42	15.2
経常利益	331	363	△ 32	△ 8.9	280	51	18.3
特別利益	12	-	12	-	-	12	-
特別損失	36	32	3	-	35	1	4.1
四半期純利益	194	199	△ 4	△ 2.4	150	44	29.9

② 事業別売上高

(単位:億円)

	2012年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント(前年同期比較)
		2011年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
医薬品事業	2,007	1,954	53	2.7	1,995	12	0.6	国内医療用医薬品 +9億円 海外医療用医薬品 +10億円 製造受託品 △10億円 技術導出契約金等 +44億円 詳細は5ページ、主要製品売上高を参照
構成比	98.5%	97.5%			98.3%			
国内	1,833	1,835	△ 2	△ 0.1	1,840	△ 6	△ 0.3	
海外	173	118	55	46.7	155	18	12.1	
その他	30	49	△ 18	△ 37.4	35	△ 4	△ 11.6	ファインケミカル事業譲渡による減収
構成比	1.5%	2.5%			1.7%			
国内	20	35	△ 15	△ 43.4	20	0	1.8	
海外	10	13	△ 2	△ 21.6	15	△ 4	△ 29.5	
売上高合計	2,038	2,003	34	1.7	2,030	8	0.4	海外売上高比率 2011年度上期:6.6% 2012年度上期:9.0% 平均為替レート 2011年度上期:1US\$ = 81.78円 2012年度上期:1US\$ = 79.78円
構成比	100.0%	100.0%			100.0%			
国内	1,853	1,871	△ 17	△ 0.9	1,860	△ 6	△ 0.3	
海外	184	131	52	39.7	170	14	8.4	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2012年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント(前年同期比較)
		2011年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
売上原価	792	744	48	6.5	765	27	3.6	薬価改定等による売上原価率上昇
比率	38.9%	37.2%			37.7%			
販管費	923	898	24	2.7	985	△ 61	△ 6.3	
比率	45.3%	44.9%			48.5%			
研究開発費	342	335	6	2.0	380	△ 37	△ 9.9	国内開発品の開発進展による増加など
比率	16.8%	16.8%			18.7%			
研究開発費以外	580	563	17	3.2	605	△ 24	△ 4.0	
人件費	259	259	0	0.2	260	0	△ 0.1	
のれん償却額(注2)	50	50	0	△ 0.1	50	0	1.3	
その他	270	253	17	6.8	295	△ 24	△ 8.3	販売権償却費の増加など
総人件費	450	444	6	1.5	460	△ 9	△ 2.0	

(注1) 2012年5月8日 2011年度決算発表時に公表した予想数値

(注2) 合併に係るのれん1,505億円を15年償却

④ 営業外損益

(単位:億円)

	2012年度上期	2011年度上期	増減額	主なポイント
営業外収益	23	20	3	
受取利息	8	7	0	
受取配当金	4	4	0	
持分法による投資利益	4	1	2	
その他	6	6	0	
営業外費用	14	17	△ 2	
為替差損	2	4	△ 1	
寄付金	2	1	0	
その他	9	10	△ 1	

⑤ 特別損益

(単位:億円)

	2012年度上期	2011年度上期	増減額	主なポイント
特別利益	12	-	12	
固定資産売却益	6	-	6	
事業譲渡益	3	-	3	ファインケミカル事業譲渡益
投資有価証券売却益	2	-	2	
特別損失	36	32	3	
事業統合関連損失	22	-	22	血漿分画事業統合に伴う損失
投資有価証券評価損	7	0	6	
減損損失	3	29	△ 26	当期)名張第二研修所ほか 前期)三番町ビル(東京)
投資有価証券売却損	1	-	1	長生堂製薬
その他	2	3	0	

⑥ 法人税等

(単位:億円)

	2012年度上期	2011年度上期	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	306	330	△ 24	
法人税、住民税 及び事業税	134	104	30	
法人税等調整額	△ 23	25	△ 49	
少数株主損益	0	1	0	
四半期純利益	194	199	△ 4	
				法定実効税率 調整) 2012年度上期 37.9% 2011年度上期 40.6% 交際費等永久に損金に算入されない項目 1.3% 2.4% 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △3.2% △3.1% 住民税均等割 0.4% 0.2% 試験研究費の特別控除 △5.8% △9.4% のれん償却額 6.2% 6.1% 受取配当金連結消去に伴う影響額 2.8% 2.8% その他 △3.4% △0.4% 税効果会計適用後の法人税等の負担率 36.2% 39.2%

⑦ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2012年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2011年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,979	1,925	53	2.8	1,965	14	0.7
国内医療用医薬品	1,766	1,756	9	0.5	1,775	△ 8	△ 0.5
レミケード	367	320	46	14.6	370	△ 2	△ 0.8
セレジスト	95	89	6	6.7	90	5	5.9
タリオン	52	53	0	△ 0.7	60	△ 7	△ 12.1
メインテート	69	65	3	5.8	70	0	△ 0.4
ラジカット	69	127	△ 58	△ 45.4	80	△ 10	△ 12.8
アンブラーグ	68	77	△ 9	△ 11.7	70	△ 1	△ 2.7
ウルソ	67	72	△ 4	△ 6.2	70	△ 2	△ 3.4
クレメジン	60	61	△ 1	△ 2.9	60	0	0.1
ヴェノグロブリンH	55	50	4	9.9	55	0	0.8
デパス	52	54	△ 1	△ 2.8	55	△ 2	△ 3.8
テラビック	34	-	34	-	35	0	△ 0.9
ヘルベッサー	39	43	△ 4	△ 10.7	40	0	△ 2.2
タナトリル	36	42	△ 5	△ 13.6	35	1	5.6
レクサプロ	16	4	12	279.7	20	△ 3	△ 16.9
シンポニー	22	0	21	-	20	2	11.4
リプル	26	31	△ 5	△ 16.7	25	1	4.4
ノイアート	22	25	△ 3	△ 12.8	25	△ 2	△ 10.5
ワクチン	126	151	△ 25	△ 16.5	130	△ 3	△ 2.9
内、ミールビック	54	62	△ 8	△ 13.7	60	△ 5	△ 9.7
内、インフルエンザ	15	23	△ 8	△ 34.3	20	△ 4	△ 23.3
内、ジェービックV	35	48	△ 13	△ 27.1	35	0	2.1
田辺製薬販売取扱品(注2)	90	82	8	10.6	85	5	6.8
海外医療用医薬品	101	91	10	11.1	95	6	7.0
ヘルベッサー	23	22	0	0.2	25	△ 1	△ 8.0
アルガトロバン(ノバスタン)	13	16	△ 2	△ 15.5	10	3	39.0
タナトリル	8	8	0	△ 0.7	10	△ 1	△ 13.5
ワクチン	10	9	0	8.5	10	0	1.1
製造受託品(注3)	37	47	△ 10	△ 21.1	35	2	7.8
技術導出契約金等	73	29	44	154.2	60	13	22.9
一般用医薬品	28	28	0	△ 2.7	30	△ 1	△ 6.4
医薬品事業合計	2,007	1,954	53	2.7	1,995	12	0.6

(注1) 2012年5月8日 2011年度決算発表時に公表した予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

	2012年度 第2四半期末	構成比%	2011年度末	増減額	主なポイント
総資産	8,373	100.0	8,199	173	
流動資産	4,443	53.1	4,196	246	
現金及び預金	152	1.8	154	△ 2	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	626	7.5	463	162	譲渡性預金、社債の増加など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,279 (3.77)	15.3	1,272 (3.75)	7 (0.02)	
たな卸資産	935	11.2	861	73	主にレミケードなど製商品の増加
預け金	1,311	15.7	1,307	3	
繰延税金資産	97	1.2	93	3	
その他	40	0.5	43	△ 3	
固定資産	3,929	46.9	4,002	△ 72	
有形固定資産	1,020	12.2	1,039	△ 18	設備投資 +42億円、減価償却 △37億円
無形固定資産	1,089	13.0	1,093	△ 4	情報システム開発投資 +10億円、 パイファ株式取得に伴うのれん計上 +42億円 合併時のれん償却 △50億円、減価償却 △5億円
投資有価証券	1,150	13.7	1,165	△ 15	社債の増加、国債の減少、 長生堂製薬株式譲渡による減少など
前払年金費用	397	4.8	421	△ 23	
繰延税金資産	94	1.1	78	15	
その他	177	2.1	203	△ 26	長期前払費用の減少など
負債	1,086	13.0	984	101	
流動負債	815	9.7	695	119	
仕入債務(注2)	359	4.3	288	70	主にレミケード、ワクチンなどの債務増加
短期借入金	7	0.1	21	△ 14	
未払金	161	1.9	157	4	
未払法人税等	132	1.6	67	64	
その他	154	1.8	160	△ 6	
固定負債	270	3.2	288	△ 17	
繰延税金負債	90	1.1	93	△ 3	
退職給付引当金	100	1.2	105	△ 5	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	14	0.2	14	-	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	33	0.4	36	△ 2	
HCV訴訟損失引当金	18	0.2	25	△ 6	和解金の支払いに伴う取り崩し
その他	13	0.2	13	0	
純資産	7,287	87.0	7,214	72	
株主資本	7,331	87.6	7,248	82	
資本金	500	6.0	500	-	
資本剰余金	4,511	53.9	4,511	-	
利益剰余金	2,324	27.8	2,241	82	四半期純利益 +194億円、 配当金支払い △112億円
自己株式	△ 4	△ 0.1	△ 4	-	
その他の包括利益累計額	△ 86	△ 1.0	△ 91	4	
その他有価証券評価差額金	5	0.1	0	6	
繰延ヘッジ損益	△ 3	△ 0.0	0	△ 4	
為替換算調整勘定	△ 89	△ 1.1	△ 91	2	
少数株主持分	42	0.5	57	△ 14	

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2) 仕入債務=支払手形(除く営業外支払手形)+買掛金

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2012年度上期	2011年度上期	増減額	2011年度
現金・現金同等物期首残高	543	978	△ 435	978
営業キャッシュ・フロー	332	163	168	372
税金等調整前当期純利益	306	330	△ 24	637
減価償却費	43	58	△ 14	124
減損損失	3	29	△ 26	33
のれん償却額	50	50	0	101
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 5	△ 6	0	△ 12
前払年金費用の増減額(△は増加)	23	△ 8	31	△ 16
HCV訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△ 6	△ 17	10	△ 21
受取利息及び受取配当金	△ 12	△ 11	0	△ 23
固定資産除売却損益(△は益)	△ 5	0	△ 6	△ 5
事業譲渡損益(△は益)	△ 3	-	△ 3	-
投資有価証券評価損益(△は益)	7	0	6	21
持分法による投資損益(△は益)	△ 4	△ 1	△ 2	△ 1
事業統合関連損失	22	-	22	-
売上債権の増減額(△は増加)	△ 7	9	△ 17	9
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 103	△ 61	△ 41	△ 86
仕入債務の増減額(△は減少)	71	27	43	△ 5
未払金の増減額(△は減少)	△ 1	△ 36	35	△ 21
利息及び配当金の受取額	13	12	0	25
法人税等の支払額	△ 70	△ 152	82	△ 283
その他	12	△ 60	72	△ 104
投資キャッシュ・フロー	△ 190	△ 445	255	△ 632
有価証券の取得・売却等	△ 105	287	△ 392	431
定期預金の預入・払戻	5	88	△ 82	93
預け金の預入による支出	△ 3	△ 765	761	△ 1,107
長期預金の預入・払戻	-	△ 4	4	△ 4
有形固定資産の取得・売却	△ 11	△ 60	49	△ 73
無形固定資産の取得による支出	△ 9	△ 4	△ 5	△ 12
投資有価証券の取得・売却等	△ 21	12	△ 34	40
子会社株式の取得による支出	△ 58	-	△ 58	-
事業譲渡による収入	13	-	13	-
その他	0	0	0	0
財務キャッシュ・フロー	△ 126	△ 86	△ 39	△ 171
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 14	△ 7	△ 6	△ 7
配当金の支払額	△ 112	△ 78	△ 33	△ 162
その他	0	0	0	△ 1
現金・現金同等物に係る換算差額	0	0	0	△ 3
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	15	△ 367	383	△ 435
現金・現金同等物期末残高	559	611	△ 51	543

* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2012年度上期	2011年度上期	2011年度
現金及び預金	152	157	154
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 19	△ 27	△ 24
取得日から3か月以内に償還期限が到来する有価証券	224	279	211
短期貸付金(注)に含まれる現金・現金同等物	1	1	1
預け金に含まれる現金・現金同等物	200	200	200
現金・現金同等物	559	611	543

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2012年度 上期	2011年度 上期	増減額	2011年度
設備投資額／発生ベース	42	28	14	70
システム投資額／発生ベース	10	3	6	12

2012年度上期の主な設備投資		2012年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	20億円	田辺三菱製薬	9億円
・戸田事業所発電機設置	(3億円)		
・東京本社移転関連	(3億円)		
田辺三菱製薬工場	13億円		
ベネシス	4億円		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2012年度 上期	2011年度 上期	増減額	2011年度
有形固定資産	37	53	△ 15	114
無形固定資産	5	5	0	10

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	ベネシス	田辺三菱 製薬工場	田辺製薬販売	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	三菱製薬 (広州)	天津田辺製薬
		決算期 3月末	3月末	3月末	12月末	12月末	12月末
売上高	2012年度上期	84	261	90	16	2	11
	2011年度	195	548	174	36	1	21
	2011年度上期	109	273	82	18	0	10
営業利益	2012年度上期	△ 4	17	4	1	△ 4	0
	2011年度	25	32	11	2	△ 9	0
	2011年度上期	21	17	4	2	△ 5	0
経常利益	2012年度上期	△ 5	16	4	1	△ 4	0
	2011年度	27	34	11	2	△ 10	0
	2011年度上期	21	19	4	2	△ 5	0
当期純利益	2012年度上期	△ 20	11	1	1	△ 4	0
	2011年度	15	18	11	1	△ 10	0
	2011年度上期	13	11	5	1	△ 5	0
研究開発費	2012年度上期	10	5	-	-	0	-
	2011年度	18	9	-	-	0	0
	2011年度上期	9	4	-	-	0	-
有形固定資産 減価償却費	2012年度上期	6	9	-	0	0	0
	2011年度	11	36	0	0	0	0
	2011年度上期	5	16	0	0	0	0
総資産	2012年度2Q末	276	636	73	21	31	19
	2011年度末	320	584	74	21	29	18
	2011年度2Q末	317	574	60	24	32	20
純資産	2012年度2Q末	233	395	1	16	18	14
	2011年度末	261	393	0	15	22	13
	2011年度2Q末	259	386	△ 5	17	27	14
従業員数	2012年度2Q末	556	1,332	166	122	463	422
	2011年度末	565	1,238	166	125	425	392
	2011年度2Q末	567	1,250	167	125	395	375

3 2012年度 業績予想について

(億円未満切捨て)

① 損益予想

(単位:億円)

	2012年度 下期予想	2011年度 下期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	2,211	2,067	143	7.0	4,250	4,071	178	4.4	
売上原価	877	778	98	12.7	1,670	1,522	147	9.7	
売上原価率	39.7%	37.6%			39.3%	37.4%			
売上総利益	1,334	1,289	44	3.5	2,580	2,548	31	1.2	
販管費	956	959	△ 2	△ 0.3	1,880	1,858	21	1.2	
販管費比率	43.3%	46.4%			44.2%	45.6%			
営業利益	377	329	47	14.4	700	690	9	1.4	
経常利益	378	323	54	17.0	710	687	22	3.3	
特別損益	△ 25	△ 16	△ 8	-	△ 50	△ 49	0	-	
当期純利益	210	190	19	10.3	405	390	14	3.8	

② 事業別売上高予想

(単位:億円)

	2012年度 下期予想	2011年度 下期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業	2,197	2,021	176	8.7	4,205	3,975	229	5.8	
構成比	99.4%	97.7%			98.9%	97.6%			
(国内)	1,986	1,882	103	5.5	3,820	3,718	101	2.7	
(海外)	211	138	72	52.5	385	256	128	49.8	
その他	14	46	△ 32	△ 69.8	45	95	△ 50	△ 53.1	
構成比	0.6%	2.3%			1.1%	2.4%			
(国内)	0	33	△ 33	-	20	69	△ 49	△ 71.3	
(海外)	14	12	1	12.2	25	26	△ 1	△ 5.1	
売上高合計	2,211	2,067	143	7.0	4,250	4,071	178	4.4	海外売上高比率 2011年度:7.0% 2012年度予想:9.6%
構成比	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%			
(国内)	1,986	1,916	69	3.6	3,840	3,788	51	1.4	計画為替レート 1US\$=81円
(海外)	225	151	74	49.1	410	283	126	44.7	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2012年度 下期予想	2011年度 下期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価	877	778	98	12.7	1,670	1,522	147	9.7	薬価改定等による売上原価率上昇
比率	39.7%	37.6%			39.3%	37.4%			
販管費	956	959	△ 2	△ 0.3	1,880	1,858	21	1.2	
比率	43.3%	46.4%			44.2%	45.6%			
研究開発費	357	366	△ 9	△ 2.5	700	702	△ 2	△ 0.3	
比率	16.2%	17.7%			16.5%	17.3%			
研究開発費以外	599	592	6	1.1	1,180	1,155	24	2.1	
人件費	255	260	△ 5	△ 1.9	515	519	△ 4	△ 0.9	
のれん償却額	51	50	0	1.4	102	101	0	0.7	
その他	292	281	10	3.8	563	534	28	5.2	販売権償却費の増加など
総人件費	439	443	△ 4	△ 1.0	890	887	2	0.2	

※業績予想の修正について

2012年度上期の業績を踏まえ、2012年5月8日に公表した2012年度通期業績予想につきまして、売上高予想を4,290億円から4,250億円(△40億円)に、経常利益予想を700億円から710億円(+10億円)に修正しております。詳細につきましては、「平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)」3ページをご覧ください。

④ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2012年度 下期予想	2011年度 下期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	2,170	1,996	174	8.7	4,150	3,921	228	5.8
国内医療用医薬品	1,923	1,797	126	7.0	3,690	3,554	135	3.8
レミケード	382	342	40	11.8	750	663	86	13.1
セレジスト	94	90	3	4.4	190	180	9	5.5
タリオン	97	80	16	21.1	150	133	16	12.4
メインテート	80	71	9	13.1	150	136	13	9.6
ラジカット	70	97	△ 26	△ 27.6	140	224	△ 84	△ 37.8
アンブラーグ	66	75	△ 8	△ 11.2	135	152	△ 17	△ 11.5
ウルソ	67	72	△ 5	△ 7.2	135	144	△ 9	△ 6.7
クレメジン	64	54	10	18.8	125	116	8	7.3
ヴェノグロブリンIH	59	56	3	5.5	115	106	8	7.5
デパス	52	55	△ 3	△ 6.3	105	109	△ 4	△ 4.5
テラビック	50	14	35	238.3	85	14	70	471.6
ヘルベッサー	35	42	△ 6	△ 16.0	75	86	△ 11	△ 13.3
タナトリン	33	40	△ 7	△ 18.6	70	83	△ 13	△ 16.1
レクサプロ	38	8	30	369.1	55	12	42	337.9
シンボニー	47	9	38	427.4	70	9	60	634.5
リブル	23	30	△ 6	△ 22.2	50	62	△ 12	△ 19.4
ノイアート	22	27	△ 5	△ 19.1	45	53	△ 8	△ 16.1
ワクチン	168	136	31	23.4	295	288	6	2.4
内、ミールビック	25	32	△ 6	△ 21.0	80	95	△ 15	△ 16.2
内、インフルエンザ	69	66	2	4.0	85	90	△ 5	△ 5.9
内、ジェービックV	24	22	1	8.2	60	71	△ 11	△ 16.0
田辺製薬販売取扱品(注1)	99	92	6	6.9	190	174	15	8.7
海外医療用医薬品	133	93	40	43.2	235	184	50	27.3
ヘルベッサー	36	25	11	43.8	60	48	11	23.2
アルガトロバン(ノバスタン)	11	14	△ 3	△ 22.5	25	30	△ 5	△ 18.8
タナトリン	11	8	3	35.9	20	17	2	17.2
ワクチン	9	6	3	52.2	20	15	4	26.4
製造受託品(注2)	32	38	△ 6	△ 17.1	70	86	△ 16	△ 19.3
技術導出契約金等	81	66	14	21.4	155	95	59	61.5
一般用医薬品	26	25	1	7.0	55	54	0	1.8
医薬品事業合計	2,197	2,021	176	8.7	4,205	3,975	229	5.8

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期取載品を含んでおります。

(注2) 他社製品の製造受託品等

⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2012年度 下期予想	2011年度 下期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	63	42	20	48.0	105	70	34	48.8
システム投資額／発生ベース	10	8	1	18.9	20	12	8	66.1

2012年度下期の主な設備投資予定		2012年度下期の主なシステム投資予定	
研究開発関係設備	27億円	研究開発関係システム	4億円
生産関係設備	23億円	その他	6億円
その他	13億円		

⑥ 減価償却費予想

(単位:億円)

	2012年度 下期予想	2011年度 下期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	37	61	△ 24	△ 39.5	74	114	△ 39	△ 34.6
無形固定資産	6	5	0	14.9	11	10	1	15.1

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満切捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度上期	2012年度予想
売上高	4,147	4,047	4,095	4,071	2,038	4,250
売上原価	1,581	1,478	1,545	1,522	792	1,670
売上総利益	2,565	2,569	2,549	2,548	1,245	2,580
販管費	1,848	1,954	1,783	1,858	923	1,880
内、研究開発費	731	830	657	702	342	700
営業利益	716	614	765	690	322	700
経常利益	725	616	766	687	331	710
特別利益	12	0	6	11	12	△ 50
特別損失	257	107	132	61	36	
当期純利益	265	302	377	390	194	405

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度上期末
総資産	8,107	7,968	8,187	8,199	8,373
流動資産	3,644	3,442	3,915	4,196	4,443
固定資産	4,463	4,526	4,271	4,002	3,929
負債	1,445	1,200	1,227	984	1,086
流動負債	891	777	877	695	815
固定負債	553	422	350	288	270
純資産	6,662	6,768	6,959	7,214	7,287

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度上期	2012年度予想
営業キャッシュ・フロー	505	239	590	372	332	-
投資キャッシュ・フロー	△ 745	△ 612	△ 76	△ 632	△ 190	-
財務キャッシュ・フロー	△ 159	△ 171	△ 154	△ 171	△ 126	-
設備投資額	121	83	101	70	42	105
情報システム開発投資	17	8	8	12	10	20
減価償却費	156	132	124	124	43	86
自己資本比率(%)	80.5	84.1	84.3	87.3	86.5	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	4.1	4.6	5.5	5.5	5.4	-
1株当たり当期純利益(円)	47.28	53.91	67.27	69.54	34.75	72.19
1株当たり純資産(円)	1,162.69	1,194.79	1,230.16	1,275.85	1,291.38	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度上期末	2012年度末予想
連結	10,030	9,266	9,198	9,180	9,427	8,900
単体	5,715	5,186	4,957	4,826	4,893	4,820

5 四半期業績の推移

(億円未満切捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2011年度					2012年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	通期予想
売上高	1,022 25.1%	981 24.1%	1,153 28.3%	914 22.5%	4,071 100.0%	1,043 24.6%	994 23.4%	4,250 100.0%
国内	957 25.3%	914 24.1%	1,080 28.5%	836 22.1%	3,788 100.0%	956 24.9%	897 23.4%	3,840 100.0%
海外	65 23.1%	66 23.5%	73 25.9%	77 27.5%	283 100.0%	87 21.4%	96 23.5%	410 100.0%
医薬品事業	997 25.1%	956 24.1%	1,129 28.4%	892 22.4%	3,975 100.0%	1,019 24.2%	988 23.5%	4,205 100.0%
国内	937 25.2%	898 24.2%	1,062 28.6%	820 22.1%	3,718 100.0%	937 24.5%	896 23.5%	3,820 100.0%
海外	60 23.4%	58 22.7%	66 26.0%	71 27.8%	256 100.0%	82 21.4%	91 23.8%	385 100.0%
その他	25 26.1%	24 25.4%	24 25.7%	21 22.8%	95 100.0%	24 54.8%	6 13.9%	45 100.0%
国内	19 28.3%	16 23.4%	18 26.0%	15 22.4%	69 100.0%	18 95.0%	1 6.8%	20 100.0%
海外	5 20.3%	8 30.9%	6 24.9%	6 23.9%	26 100.0%	5 22.7%	4 19.6%	25 100.0%
売上原価	373	370	448	329	1,522	406	386	1,670
売上原価率	36.5%	37.8%	38.9%	36.1%	37.4%	38.9%	38.8%	39.3%
売上総利益	648 25.5%	610 23.9%	705 27.7%	584 22.9%	2,548 100.0%	637 24.7%	608 23.6%	2,580 100.0%
販売費及び 一般管理費	421 22.7%	477 25.7%	466 25.1%	493 26.6%	1,858 100.0%	449 23.9%	474 25.2%	1,880 100.0%
研究開発費	157 22.4%	178 25.4%	180 25.7%	186 26.5%	702 100.0%	169 24.2%	173 24.7%	700 100.0%
研究開発費 以外	264 22.9%	298 25.9%	285 24.7%	307 26.6%	1,155 100.0%	279 23.7%	300 25.5%	1,180 100.0%
人件費	126 24.3%	133 25.6%	129 24.9%	131 25.2%	519 100.0%	129 25.1%	130 25.3%	515 100.0%
のれん 償却額	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	101 100.0%	25 24.8%	25 24.8%	102 100.0%
その他	112 21.1%	140 26.3%	130 24.5%	150 28.2%	534 100.0%	125 22.3%	145 25.8%	563 100.0%
営業利益	227 32.9%	133 19.3%	238 34.6%	91 13.2%	690 100.0%	188 26.9%	134 19.2%	700 100.0%
経常利益	229 33.4%	133 19.5%	240 34.9%	83 12.2%	687 100.0%	196 27.7%	134 19.0%	710 100.0%
四半期(当期) 純利益	114 29.3%	85 21.9%	158 40.7%	31 8.1%	390 100.0%	108 26.7%	86 21.4%	405 100.0%

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

② 主要製品売上高

(単位: 億円)

	2011年度					2012年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	通期予想
医療用医薬品	983 25.1%	942 24.0%	1,114 28.4%	881 22.5%	3,921 100.0%	1,005 24.2%	973 23.5%	4,150 100.0%
国内医療用医薬品	897 25.3%	859 24.2%	1,028 28.9%	768 21.6%	3,554 100.0%	905 24.5%	861 23.3%	3,690 100.0%
レミケード	158 23.9%	162 24.5%	189 28.5%	153 23.1%	663 100.0%	179 23.9%	187 25.0%	750 100.0%
セレジスト	46 25.9%	42 23.7%	51 28.4%	39 22.0%	180 100.0%	50 26.3%	45 23.8%	190 100.0%
タリオン	30 22.9%	22 16.9%	39 29.3%	41 30.9%	133 100.0%	30 20.3%	22 14.8%	150 100.0%
メインテート	34 24.9%	31 23.3%	40 29.6%	30 22.3%	136 100.0%	36 24.2%	33 22.2%	150 100.0%
ラジカット	67 29.9%	60 26.9%	59 26.4%	37 16.7%	224 100.0%	37 26.5%	32 23.3%	140 100.0%
アンブラーグ	40 26.8%	36 23.7%	44 29.4%	30 20.1%	152 100.0%	36 27.1%	31 23.3%	135 100.0%
ウルソ	37 26.2%	34 23.6%	41 28.9%	30 21.3%	144 100.0%	34 25.9%	32 24.2%	135 100.0%
クレメジン	28 24.4%	33 28.6%	28 24.8%	25 22.1%	116 100.0%	31 25.1%	28 23.0%	125 100.0%
ヴェノグロブリンH	24 23.3%	25 23.8%	32 30.6%	23 22.2%	106 100.0%	28 24.9%	26 23.3%	115 100.0%
デバス	28 25.5%	26 24.0%	31 28.3%	24 22.2%	109 100.0%	27 26.3%	25 24.1%	105 100.0%
テラビック	- -	- -	1 12.0%	13 88.0%	14 100.0%	21 25.3%	13 15.5%	85 100.0%
ヘルベッサー	23 27.0%	20 23.6%	24 28.8%	17 20.6%	86 100.0%	21 28.1%	18 24.0%	75 100.0%
タナドリル	22 27.3%	20 24.0%	23 28.6%	16 20.1%	83 100.0%	19 28.1%	17 24.7%	70 100.0%
レクサプロ	- -	4 34.9%	3 28.0%	4 37.1%	12 100.0%	7 13.7%	9 16.6%	55 100.0%
シンボニー	- -	0 5.0%	3 38.4%	5 56.6%	9 100.0%	10 14.9%	11 16.9%	70 100.0%
リブル	16 26.6%	14 23.9%	17 28.1%	13 21.4%	62 100.0%	14 28.0%	12 24.2%	50 100.0%
ノイアート	12 23.9%	12 23.9%	16 31.6%	11 20.6%	53 100.0%	11 25.9%	10 23.8%	45 100.0%
ワクチン	70 24.4%	80 28.0%	94 32.7%	42 14.8%	288 100.0%	61 20.7%	65 22.0%	295 100.0%
内、ミールビック	41 43.6%	21 22.2%	11 12.3%	20 21.9%	95 100.0%	33 42.1%	20 25.7%	80 100.0%
内、インフルエンザ	0 △ 0.1%	23 26.0%	64 71.2%	2 3.0%	90 100.0%	0 △ 0.5%	15 18.5%	85 100.0%
内、ジェービックV	20 29.3%	28 39.3%	12 18.0%	9 13.4%	71 100.0%	17 29.8%	17 29.8%	60 100.0%
田辺製薬販売取扱品 (注1)	43 24.9%	38 22.0%	52 29.8%	40 23.3%	174 100.0%	48 25.5%	42 22.3%	190 100.0%
海外医療用医薬品	46 25.3%	44 24.2%	47 25.5%	46 24.9%	184 100.0%	45 19.4%	56 23.9%	235 100.0%
ヘルベッサー	11 24.6%	10 22.5%	13 27.1%	12 25.7%	48 100.0%	11 19.1%	11 19.3%	60 100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	9 32.3%	6 21.1%	7 25.6%	6 21.0%	30 100.0%	7 28.6%	6 27.0%	25 100.0%
タナドリル	3 22.9%	4 28.2%	4 27.7%	3 21.3%	17 100.0%	4 22.5%	4 20.8%	20 100.0%
ワクチン	4 29.8%	4 29.1%	3 21.0%	3 20.0%	15 100.0%	2 13.7%	7 36.9%	20 100.0%
製造受託品(注2)	24 28.3%	23 26.9%	17 20.2%	21 24.6%	86 100.0%	17 24.6%	20 29.3%	70 100.0%
技術導出契約金等	14 15.0%	14 15.2%	20 21.9%	45 47.9%	95 100.0%	37 24.4%	35 23.2%	155 100.0%
一般用医薬品	14 26.4%	14 27.0%	14 27.3%	10 19.3%	54 100.0%	13 24.7%	14 26.4%	55 100.0%
医薬品事業合計	997 25.1%	956 24.1%	1,129 28.4%	892 22.4%	3,975 100.0%	1,019 24.2%	988 23.5%	4,205 100.0%

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2012年10月29日現在)

1. 国内開発状況

① 新規化合物

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源
TA-7284 (カナグ)フロジン	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	フェーズ 3	自社
MP-214 (カリブラジン)	D3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオンヒター
MP-435	C5a受容体拮抗剤 (関節リウマチ)	フェーズ 2	自社
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー病)	フェーズ 1	米:エンヴィヴオ
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (高血圧)	フェーズ 1	自社
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	フェーズ 1	自社

② 効能追加

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源
オメプラゾン (オメプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎における除菌の補助)	申請中	英:アストラゼネカ
メインテート (ピソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心房細動)	申請中	スイス:メルクセロノ
グルトバ (アルテプララーゼ [遺伝子組換え])	血栓溶解剤 (虚血性脳血管障害急性期[発症後4.5時間以内])	申請中	米:ジェネンテック
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	フェーズ 3	自社
タリオン (ベポタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児アレルギー性鼻炎)	フェーズ 3	日:宇部興産
テラピック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (O型慢性肝炎[ジェノタイプ2])	フェーズ 3	米:ヴァーテックス
テネリア (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病・追加併用)	フェーズ 3	自社
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病*)	フェーズ 3	米:ヤンセン・バイオテック
	(特殊型パーチェット病*)	フェーズ 3	
	(小児クローン病)	フェーズ 3	
	(小児潰瘍性大腸炎)	フェーズ 3	
コレバイン (コレスチミド(JAN))	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病)	フェーズ 2	自社
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)	フェーズ 1	

*希少疾病用医薬品指定

2. 海外開発状況

① 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源
MCI-196/ビンドレン (コレステラン(INN))	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	欧州	申請中 (2011年8月)	自社
MP-146	尿毒症毒素吸着剤 (慢性腎臓病)	米国、欧州	フェーズ 3	日:クレハ
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	フェーズ 2	自社
		米国	フェーズ 1	
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国・カナダ	フェーズ 1	自社
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 1	自社
MT-7716	NOP受容体作動薬 (アルコール使用障害)	米国	フェーズ1	自社

3. 導出品の開発状況

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先
TA-1790 (アバナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	欧州	申請中 (2012年3月)	米:ヴァーヴラス
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	米国	申請中 (2012年5月)	米:ヤンセン ファーマシューティカルズ
		欧州	申請中 (2012年6月)	
	(肥満)	米国、欧州	フェーズ 2	
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	韓国	フェーズ 3	韓:ハンドク
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[$\alpha 4 \beta 7 / \alpha 4 \beta 1$ 阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	英:グラクソ・スミスクライン
MKC-242	セロトニン1A受容体作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ 2	米:メディシノバ
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	仏:キレナイック
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 2	日:マルホ
sTU-199 (テナトブラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シテム)
TT-138	$\beta 3$ 受容体作動剤 (頻尿/尿失禁)	米国	フェーズ 1	米:メディシノバ

4. 2012年度第1四半期決算発表時点(2012年7月31日)からの変更点

① 自社開発品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2012年10月29日現在
オメプラゾン (オメプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎における除菌の補助)	日本	記載なし	申請 (2012年8月)
メインテート (ビソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心房細動)	日本	フェーズ3	申請 (2012年9月)
グルトパ (アルテプラゼ 〔遺伝子組換え〕)	血栓溶解剤 (虚血性脳血管障害急性期〔発症後4.5時間以内〕)	日本	記載なし	申請 (2012年9月)
レミケード (インフリキシマブ 〔遺伝子組換え〕)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (乾癬:用法・用量の変更〔増量〕)	日本	記載なし	フェーズ3
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ1	開発中止
献血ヴェノグロブリンIH (ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG (免疫グロブリンG2欠乏症)	日本	申請中 (1997年12月)	削除*
	(全身性強皮症)	日本	フェーズ3	

* 血漿分画事業譲渡の為

② 導出品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2012年10月29日現在
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ1	フェーズ2

5. 新製品開発状況補足資料(2012年10月29日現在)

① 国内 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病を対象にフェーズ3。
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト作用を有する。ゲデオンリヒター(ハンガリー)より導入。統合失調症を対象にフェーズ2b/3。
MP-435	補体成分C5a受容体拮抗作用を有する経口の免疫調節剤。関節リウマチを対象にフェーズ2。
MT-4666	α 7ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)作動剤。エンヴィヴオ(米)より導入。アルツハイマー病を対象にフェーズ1。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。フェーズ1。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。イムセラ/ジレニアの後継品としてフェーズ1。

② 国内 効能追加

製品名 (一般名)	補足説明
オメプラゾン (オメプラゾール)	(ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎における除菌の補助)プロトンポンプ阻害作用を有し、1991年に胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群の治療剤として発売。その後、ヘリコバクター・ピロリ除菌の補助として、胃・十二指腸潰瘍等の適応を受けている。今回、関連学会からの開発要望を受け、ヘリコバクター・ピロリ除菌の補助として、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎について申請中。
メインテート (ビソプロロール)	(慢性心房細動)選択的 β 1アンタゴニスト作用を有する。1990年に本態性高血圧症、狭心症及び心室性期外収縮の治療剤として発売。2011年に慢性心不全治療剤としての追加効能を取得。学会からの要望を受け、慢性心房細動に対する臨床試験を実施し、効能追加を申請中。
グルトパ (アルテプラザーゼ [遺伝子組換え])	(虚血性脳血管障害急性期[発症後4.5時間以内])1991年に急性心筋梗塞に対する血栓溶解剤として発売。その後、2005年に虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善(発症後3時間以内)に対する追加効能を取得。今回、関連学会からの要望を受け、虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善の効能又は効果、用法及び用量を、発症後3時間以内から発症後4.5時間以内へ延長について公知申請中。
ラジカット (エダラボン)	(筋萎縮性側索硬化症[2005年6月、希少疾病用医薬品指定])フリーラジカル消去作用を有する。2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。フェーズ3。
タリオン (ベボタスチン)	(小児アレルギー性鼻炎)2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。フェーズ3。
テラビック (テラプレビル)	(C型慢性肝炎[ジェノタイプ2])2011年にC型慢性肝炎治療剤として発売。フェーズ3。
テネリア (テネリグリブチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤として、2012年9月に発売。追加併用試験を実施中。
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、硬直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤としての適応も受けている。 (難治性川崎病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定])フェーズ3。
	(特殊型ベーチェット病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定])フェーズ3。
	(小児クローン病)フェーズ3。
	(小児潰瘍性大腸炎)フェーズ3。
コレバイン (コレスチミド(JAN))	胆汁酸排泄促進剤。1999年に高コレステロール血症治療剤として発売。 (2型糖尿病)フェーズ2。
	(高リン血症)フェーズ1。

③ 海外 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
MCI-196/ビンドレン (コレステラン(INN))	欧州で腎透析患者に対する高リン血症治療薬として2011年8月に申請し、2012年9月に承認勧告を受けた。日本では、高コレステロール血症治療薬として製品名コレバインで販売中。
MP-146	2006年11月にクレハから導入した経口の球状吸着炭。慢性腎臓病患者を対象に欧米でフェーズ3。日本では製品名クレメジンで1991年から三共(現、第一三共)が販売していたが、2011年4月より当社が販売を継承。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。
GB-1057 (人血清アルブミン 〔遺伝子組換え〕)	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国で安定化剤としてフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダでフェーズ1。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。欧州でフェーズ1。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤。欧州でフェーズ1。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。欧州でイムセラ/ジレニアの後継品としてフェーズ1。
MT-7716	NOP受容体作動剤。米国でフェーズ1。

④ 導出品

治験コード (一般名)	補足説明
TA-1790 (アバナフィル)	即効性で、副作用の少ない勃起障害治療剤として創製。ヴィーヴァスにより欧州で2012年3月に申請した。米国では2012年4月に承認を取得。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。ヤンセンファーマシューティカルズにより欧州・米国で2型糖尿病を対象に申請。肥満を対象にフェーズ2終了。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療薬。韓国でフェーズ3。
T-0047 (フィラテグラスト)	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。グラクソ・スミスクラインが欧州ほかでフェーズ2。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神疾患治療剤。米国メディシノバが不眠症を対象にフェーズ2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。千寿製薬が国内でフェーズ2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。キレナイック(仏)がフェーズ2。
TA-7906	PDE4阻害剤。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、マルホが国内でフェーズ2。
sTU-199 (テナトブラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1のPK/PD試験の結果、長い血中濃度半減期より日1回投与で夜間の優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが欧州でフェーズ1。
TT-138	β 3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。メディシノバが米国でフェーズ1。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2012年度 上期末	2011年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	28	28	-	
非連結子会社数	1	3	-2	減少)長生堂製薬(株)、ホシエヌ製薬(株)
関連会社数	5	3	2	増加)長生堂製薬(株)、ホシエヌ製薬(株)
合計	34	34	-	

② 連結子会社一覧

(2012年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)ベネシス	3,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
2	田辺三菱製薬工場(株)	1,130	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
4	三菱製薬(広州)有限公司	US\$12,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
5	天津田辺製薬有限公司	US\$12,000,000	66.7 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
6	吉富薬品(株)	385	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
7	MPロジスティクス(株)	95	65.0 (—)	3月末	物流・倉庫業
8	(株)バイファ	7,500	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
9	田辺製薬吉城工場(株)	400	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
10	田辺製薬販売(株)	169	90.6 (5.6)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
11	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
12	田辺総合サービス(株)	90	100.0 (—)	3月末	不動産の管理等
13	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	US\$100	65.0 (—)	12月末	バイオベンチャーへの投資事業
14	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 (—)	12月末	米国グループ会社の経営管理
15	ミツビシ タナベ ファーマ デベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の研究開発
16	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の研究開発
17	タナベ U.S.A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	12月末	化成品等の販売
18	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の販売
19	三菱製薬研発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
20	広東田辺医薬有限公司	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
21	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
22	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 (—)	12月末	医薬品の販売
23	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
24	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
25	ミツビシ ファーマ ドイツ	EUR 25,000	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の販売
26	タナベ ヨーロッパ	EUR 260,330	100.0 (—)	12月末	化成品等の販売

(注)上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

③ 持分法適用関連会社一覧

(2012年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	長生堂製薬(株)	340	37.1 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
2	ホシエヌ製薬(株)	75	24.1 (24.1)	3月末	医薬品の製造・販売
3	(株)エービーアイ コーポレーション	4,000	47.7 (—)	3月末	医薬品原体等の製造・販売
4	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2012年9月末	2012年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	423,681	423,532
期末発行済株式数	560,994,235	560,994,384
期中平均自己株式数	423,611	364,350
期中平均株式数	560,994,305	561,053,566

② 大株主の状況

順位	株主名	2012年9月末		2012年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行	35,220	6.27%	2	32,566	5.80%
3	日本マスタートラスト信託銀行	29,692	5.29%	3	28,150	5.01%
4	日本生命保険	15,112	2.69%	4	15,137	2.70%
5	ニプロ	7,642	1.36%	5	7,642	1.36%
6	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	6	7,254	1.29%
7	ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	7,100	1.26%	7	7,100	1.26%
8	資産管理サービス信託銀行	5,012	0.89%	11	4,051	0.72%
9	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	4,903	0.87%	9	4,297	0.77%
10	田辺三菱製薬従業員持株会	4,567	0.81%	8	4,423	0.79%

③ 所有者別株式数分布状況

	2012年9月末			2012年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	73	112,250	20.00%	64	106,350	18.95%
外国法人等	383	78,576	14.00%	375	82,524	14.70%
個人・その他(注)	13,371	26,648	4.75%	13,850	27,518	4.90%
その他の法人	277	342,713	61.06%	282	342,629	61.04%
金融商品取引業者	33	1,120	0.20%	57	2,285	0.41%
合計	14,137	561,309	100.00%	14,628	561,308	100.00%
単元未満株式の状況	-	108	-	-	109	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2012年9月末423千株、2012年3月末423千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度上期	2012年度予想
1株当たり年間配当金(円)	28	28	28	35	20	40
配当性向(%)	59.2	51.9	41.6	50.3	-	55.4
(のれん償却前)	(43.0)	(39.0)	(32.9)	(40.0)	(-)	(44.4)
期末株価(円)	971	1,320	1,350	1,161	1,187	-
株式時価総額(億円)	5,451	7,410	7,579	6,518	6,664	-

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤(関節リウマチ、クローン病、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤)
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、乾癬、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売した。 オリジン:宇部興産</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界85カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。2011年5月に「慢性心不全」の効能を追加取得した。 オリジン:(スイス)メルクセロー</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
<p>我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p>			
アンプラーグ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。 オリジン:製造販売元:クレハ</p>			
ヴェノグロブリンH	1992年1月発売	薬効	血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された人免疫グロブリン製剤。重症感染症(抗生物質との併用)や川崎病の急性期などに使用される。また、2010年10月、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)」、2011年2月、「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多薬性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善」、同年9月、「全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限り)」の効能追加に係る承認を取得。全身型重症筋無力症の治療においては、新たな選択肢として患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待している。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩和作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			

テラビック	2011年11月発売	薬効	抗ウイルス剤
<p>C型肝炎ウイルス(HCV)の複製に関与するNS3-4Aセリンプロテアーゼを阻害することにより、HCVの増殖を抑制するファースト・イン・クラスの経口C型慢性肝炎治療薬である。ジェノタイプ1のC型慢性肝炎患者に対して、本剤を含む3剤併用療法(テラビック+ペグインターフェロン+リバビリン)は、従来療法と比較し治療効果の向上や治療期間の短縮が認められた。また、従来の治療で効果が得られなかった患者さんに、新たな治療機会の提供が期待される。</p> <p>オリジン:(米)ヴァーテックス</p>			
ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤(狭心症・高血圧症治療剤)
<p>世界で広く使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。降圧作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を減らすとともに、冠血管を拡張し冠血流量を増加させる。心臓保護効果を有する。</p>			
タナトリル	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤(高血圧症治療剤)
<p>確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年1月には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポーターへの選択性が高いSSRIで、世界96の国と地域で使用されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。</p> <p>オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、簡便な4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。</p> <p>(ヤンセンファーマとの共同販売)</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
リプル	1988年11月発売	薬効	プロスタグランジンE1製剤
<p>世界初の静注用プロスタグランジンE1のDDS(ドラッグ・デリバリー・システム)製剤。血管に直接作用し拡張させることにより慢性動脈閉塞症、糖尿病における皮膚潰瘍等の末梢循環障害を改善する。DDS化によりPGE1の治療上の有用性を最大に引き出し、投与時のデメリットを最小化することに成功した。</p>			
ノイアート	1987年6月発売	薬効	血漿分画製剤(血液凝固阻剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された人アンチトロンビンIII製剤。人アンチトロンビンIIIを高純度に含有するDIC治療剤である。トロンビンをはじめとするセリンプロテアーゼ活性を阻害することにより強力な抗凝固作用を発揮する。</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
<p>麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。麻しんおよび風しんの予防接種率の向上が期待される。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効	日本脳炎の予防
<p>製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期ともに乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンが使用可能になったことから、接種人数の増加が期待される。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2012年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2012年 5月7日	ヴィーヴァス社による米国における「TA-1790」の承認取得について
5月8日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」「乾癬」承認条件解除に関するお知らせ
5月8日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」点滴時間を短縮して投与することが可能に
5月8日	血漿分画事業に係る統合新法人「一般社団法人 日本血液製剤機構」の設立について
5月9日	高コレステロール血症治療剤「ピタバスタチンカルシウム」インドネシアにおける販売開始に関するお知らせ
5月15日	ファインケミカル事業の譲渡に関するお知らせ
6月1日	サイトクロマ・インク社との二次性副甲状腺機能亢進症治療薬MT-2832(一般名:ルナカルシポール)のライセンス契約終了のお知らせ
6月6日	高コレステロール血症治療剤「ピタバスタチンカルシウム」台湾における販売開始に関するお知らせ
6月22日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
6月29日	2型糖尿病治療剤「テネリア錠20mg」製造販売承認取得のお知らせ
7月6日	選択的抗トロンピン剤「アルガトロバン」英国における販売開始に関するお知らせ
7月23日	精神安定剤「デパス錠0.25mg」新発売に関するお知らせ
8月28日	2型糖尿病治療剤「テネリア錠20mg」新発売のお知らせ
8月31日	株式会社バイファに係るニプロ株式会社との合併事業の解消に関するお知らせ
8月31日	ヘリコバクター・ピロリ除菌に関するプロトンポンプ阻害薬、アモキシシリン水和物製剤、クラリスロマイシン製剤またはメロニダゾール製剤の3剤併用療法の追加適応申請について
9月13日	選択的 β 1アンタゴニスト「メインテート錠」慢性心房細動に係る追加適応の申請について
9月20日	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「シンボニー」インドネシアにおける販売開始に関するお知らせ
9月28日	血栓溶解剤グルトパとアクチバシンの虚血性脳血管障害発症後4.5時間以内まで使用可能とする申請について
10月1日	物流業務の全面的な外部委託に関するお知らせ
10月10日	慢性腎不全用剤の海外における第3相臨床試験について
10月19日	長生堂製薬株式会社との資本提携解消について
10月26日	沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ(セービン株)混合ワクチン「テトラビック皮下注シリンジ」新発売のお知らせ